

【格付維持】

東京大学

発行体格付： AA+ [格付の方向性： 安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

1877（明治10）年に日本で初めて設立された国立大学。文部科学省所管の国立大学法人で、指定国立大学として日本の教育研究活動を先導する。研究力に優れる大学院は国内最多の学生数を擁し、法人全体でみた資産、収益面では群を抜く存在となっている。

大学を主とする高等教育機関は教育と研究、社会貢献に寄与する公共財として非常に重要な役割を担う。とりわけ国立大学は高等教育の実行機関として政策上の重要性が極めて高い。運営費交付金をはじめとする財政面のサポートは徐々に弱まっているが、大学ファンドの創設、準トップ大学や地域中核・特色ある研究大学向け支援など自律的経営を促すメリハリの効いた新たな施策が整いつつある。政府との緊密な関係に変化は予想されず、国立大学法人は政府系機関の一角として極めて高い信用力を備える。

145年の歴史を持つ東京大学は海外での知名度も高く、多くの総理大臣やノーベル賞受賞者など官民両分野の中枢を担う優秀な人材を輩出している。社会的評価は極めて高い。「特定機能病院」や「臨床研究中核病院」など各種の指定を受けている附属病院は、国立大学法人の中でもトップクラスの規模を持ち、首都圏の高度医療に貢献している。感染症の流行や物価の上昇など環境は厳しいものの、自助努力と公的な支援を支えに、黒字を維持できる可能性が高い。

民間企業からの受託研究や共同研究の件数・金額がともに増加するなど、産業界との連携においても他大学に先行する。研究費に寄付金を加えた外部資金の比率では2年連続で首位を占める。総長自ら民間企業トップと合意を形成するなど、組織対組織の産学協創に積極的で、社会課題の解決やイノベーションの創出を狙っている。クボタや三菱地所と産学協創協定の締結にこぎつけるなど、案件累計は10件に達した。外部資金は今後一段と増加する公算が大きい。

2021年10月に長期ビジョンを公表した。広く社会に開かれた公共財として世界に貢献することを目指し、大学の成長モデル確立を掲げる。ビジョンに沿って、今春、新たに財務経営本部を設置した。政府の規制緩和にも後押しされ、中長期を見据えた財務運営が可能になりつつある点も好材料だ。今後、大学の機能拡充に必要な財務基盤と仕組みの構築、1000億円規模の法定基金（仮称）の創設などを予定する。大学ファンドへの申請に向けた体制整備も含め、経営力強化に向けた動向を注視していく。

【格付対象】 12月07日付

発行者：東京大学

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+（維持）	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回東京大学債券	200	2020年10月16日	2060年03月19日	AA+（維持）
第2回東京大学債券	100	2021年12月22日	2061年03月18日	AA+（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉

信用格付を付与した日	2022年12月07日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2019. 11. 12] 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 学校法人 [2021. 05. 31]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	東京大学
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。